

Ver 1.0

**高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書**

プロジェクト名	高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	高知県中土佐町長 池田 洋 光  印

提出日 平成22年5月31日

受理日 年 月 日

最終版提出日 年 月 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	中土佐町 (ナカトサチョウ)		
住所	〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 6602-2		
代表者氏名	池田 洋光	担当者氏名	市川 文啓
担当者所属	中土佐町農林課	担当者役職	主幹
担当者 E-mail	fumihiro_ichikawa@town.nakatosa.lg.jp	担当者電話番号	0889-57-2022
プロジェクトでの役割			
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	須崎地区森林組合		
住所	高知県須崎市安和925番地		
代表者氏名	北澤 利文	担当者氏名	峯本 泉
担当者所属	須崎地区森林組合業務課	担当者役職	課長
担当者 E-mail	minemoto@shirt.ocn.ne.jp	担当者電話番号	0889-43-0030
プロジェクトでの役割			
プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	一般社団法人 more trees		
住所	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-9-11 フレンシア外苑西103		
代表者氏名	坂本 龍一	担当者氏名	水谷 伸吉
担当者所属		担当者役職	事務局長
担当者 E-mail	info@more-trees.org	担当者電話番号	03-5770-3969
プロジェクトでの役割	環境先進企業との協働の森づくり事業におけるパートナー		
オフセット・クレジット(高知県 J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	高知県中土佐町(コウチケンナカトサチョウ)		
高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者	中土佐町		
公的な報告・公表制度			
自主的な報告・公表制度			

※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。

- ※2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3: プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- ※4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5: 高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6: 高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7: 高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)制度利用約款を参照すること。

B: プロジェクト活動の概要①

B.1 プロジェクト活動	項目
	B.1.1 プロジェクトの目的及び内容 本プロジェクトの実施により、採算性の低い中土佐町内の森林の整備を加速化させることで、CO₂の吸収量を増大させることを目的とし、また、CO₂吸収量を金銭価値化することで、森林所有者のコスト負担を低減し、間伐を促進します。 あわせて、計画的に間伐を進めることで、安定した就労の場を確保し、林業従事者の雇用の安定化を図ることで、林業の担い手の確保、育成に努めます。

B.1.2 プロジェクト実施前の状況

プロジェクト実施地は、Ⅵ齢級以上のヒノキ・スギ林で構成されており、面積は約133 ha あります。中土佐町では、森林資源の活用を図るため施業の集約化や高性能機械の導入により、間伐材の搬出を推進していますが、木材価格の低迷によりその採算性が悪化しています。

1. 萩中森の工場団地

森林施業 計画に おける 施業地 NO	林班名		森林所在地	樹 種	間伐施業の計画			
	林 班	林 小 班			面積	林齢	時期	内容
1	41	1	中土佐町大野見萩中新改 597 他1	ヒノキ	3.14	41	2008	搬出間伐
2	41	1	中土佐町大野見萩中新改 599	ヒノキ	0.55	41	2008	搬出間伐
3	41	1	中土佐町大野見萩中新改 600	ヒノキ	3.36	41	2008	搬出間伐
4	41	1	中土佐町大野見萩中新改 600	スギ	0.59	41	2008	搬出間伐
5	41	1	中土佐町大野見萩中新改 600	スギ	0.36	41	2008	搬出間伐
7	41	1	中土佐町大野見萩中新改 600 他1	ヒノキ	2.81	45	2010	搬出間伐
8	41	1	中土佐町大野見萩中新改 600 他1	スギ	0.15	45	2010	搬出間伐
11	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	ヒノキ	1.11	40	2009	搬出間伐
12	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	ヒノキ	0.10	40	2010	搬出間伐
13	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	スギ	0.32	40	2010	搬出間伐
15	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	スギ	0.11	40	2009	搬出間伐
16	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	スギ	0.46	40	2010	搬出間伐
14	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 846	ヒノキ	0.11	40	2010	搬出間伐
17	41	3	中土佐町大野見萩中寺元 844	ヒノキ	2.32	42	2008	搬出間伐
18	41	2	中土佐町大野見萩中新改 841	ヒノキ	1.06	46	2010	搬出間伐
19	41	2	中土佐町大野見萩中新改 838	ヒノキ	0.84	41	2009	搬出間伐
20	41	2	中土佐町大野見萩中新改 838	ヒノキ	0.50	41	2010	搬出間伐
21	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 1323	ヒノキ	1.38	36	2010	搬出間伐
22	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 1323	スギ	0.09	36	2010	搬出間伐
25	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	1.18	42	2008	搬出間伐
26	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	0.78	42	2010	搬出間伐
27	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 968 他1	ヒノキ	1.53	46	2010	搬出間伐
28	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 968 他1	スギ	0.07	46	2010	搬出間伐
30	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	2.09	42	2008	搬出間伐

29	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	0.15	42	2008	搬出間伐
31	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	スギ	0.19	42	2008	搬出間伐
32	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	スギ	0.33	42	2008	搬出間伐
33	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	0.58	42	2008	搬出間伐
34	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	ヒノキ	0.73	42	2008	搬出間伐
35	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	スギ	0.28	42	2008	搬出間伐
36	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	スギ	0.05	42	2008	搬出間伐
38	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1372	スギ	0.02	42	2008	搬出間伐
39	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1379 他2	ヒノキ	2.59	42	2008	搬出間伐
40	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1379 他2	スギ	0.27	42	2008	搬出間伐
41	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1380 他2	ヒノキ	4.22	42	2010	搬出間伐
42	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1384	ヒノキ	1.41	42	2009	搬出間伐
43	42	2	中土佐町大野見萩中寺元 1380 他2	スギ	1.68	42	2010	搬出間伐
46	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 1382	ヒノキ	1.01	40	2010	搬出間伐
45	42	1	中土佐町大野見萩中寺元 1382	スギ	0.09	40	2010	搬出間伐
48	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388	スギ	1.87	43	2007	搬出間伐
49	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388 他 3	ヒノキ	5.31	43	2007	搬出間伐
50	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1392	スギ	0.09	43	2007	搬出間伐
51	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1387	ヒノキ	2.82	43	2007	搬出間伐
53	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1386 他1	スギ	1.37	43	2007	搬出間伐
54	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1387	ヒノキ	0.29	43	2007	搬出間伐
55	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1386	ヒノキ	0.82	43	2007	搬出間伐
56	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1392	ヒノキ	0.43	42	2008	搬出間伐
57	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388 他1	ヒノキ	0.08	42	2008	搬出間伐
58	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1387 他1	ヒノキ	1.81	42	2008	搬出間伐
59	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388 他2	スギ	0.47	42	2008	搬出間伐
60	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1386 他1	スギ	0.21	42	2008	搬出間伐
61	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1386 他2	ヒノキ	4.12	51	2009	搬出間伐
62	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1387	スギ	0.19	51	2009	搬出間伐
63	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388	スギ	0.03	51	2009	搬出間伐
64	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1388	スギ	0.04	51	2009	搬出間伐
65	42	3	中土佐町大野見萩中寺元 1386 他1	スギ	0.18	51	2009	搬出間伐
66	42	4	中土佐町大野見萩中寺元 1393	ヒノキ	3.11	41	2010	搬出間伐
67	42	4	中土佐町大野見萩中寺元 1393	スギ	0.07	41	2010	搬出間伐
69	43	6	中土佐町大野見萩中押谷 2335	ヒノキ	1.56	44	2007	搬出間伐
72	45	3	中土佐町大野見萩中押谷 1878 他1	ヒノキ	1.75	41	2008	搬出間伐

	74	46	1	中土佐町大野見萩中押谷 1781	ヒノキ	0.18	43	2008	搬出間伐
	75	46	1	中土佐町大野見萩中押谷 1781	ヒノキ	0.24	43	2008	搬出間伐
	76	46	1	中土佐町大野見萩中押谷 1781	スギ	0.56	43	2008	搬出間伐
	77	46	1	中土佐町大野見萩中押谷 1781	スギ	0.95	43	2008	搬出間伐
	82	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1786	ヒノキ	0.59	42	2009	切捨間伐
	81	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1786	スギ	0.34	42	2009	搬出間伐
	83	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1786	スギ	0.45	42	2009	切捨間伐
	78	46	5	中土佐町大野見萩中押谷 1778 他1	ヒノキ	1.95	44	2009	搬出間伐
	80	46	5	中土佐町大野見萩中押谷 1778 他1	ヒノキ	0.15	44	2009	搬出間伐
	79	46	5	中土佐町大野見萩中押谷 1778 他1	スギ	2.81	44	2009	搬出間伐
	84	46	3	中土佐町大野見萩中押谷 1807 他1	ヒノキ	2.98	45	2010	搬出間伐
	85	46	3	中土佐町大野見萩中押谷 1807 他1	スギ	0.83	45	2010	搬出間伐
	86	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1789 他1	ヒノキ	0.74	43	2010	搬出間伐
	89	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1791 他2	ヒノキ	4.87	43	2009	搬出間伐
	87	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1789 他1	スギ	0.12	43	2010	搬出間伐
	88	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1789 他1	スギ	0.62	43	2010	搬出間伐
	90	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1791 他2	スギ	0.09	43	2009	搬出間伐
	91	46	4	中土佐町大野見萩中押谷 1791 他2	スギ	0.24	43	2009	搬出間伐
	93	47	4	中土佐町大野見萩中押谷 1524	ヒノキ	0.96	44	2010	搬出間伐
	94	47	4	中土佐町大野見萩中押谷 1524	スギ	5.81	44	2010	搬出間伐
	95	49	1	中土佐町大野見萩中寺元 1051	ヒノキ	0.10	35	2010	搬出間伐
	96	49	1	中土佐町大野見萩中寺元 1051	ヒノキ	2.11	35	2010	搬出間伐
	99	49	1	中土佐町大野見萩中寺元 1051	スギ	0.14	35	2010	搬出間伐
	100	49	2	中土佐町大野見萩中寺元 1049	ヒノキ	0.20	35	2010	搬出間伐
	101	49	2	中土佐町大野見萩中寺元 1049	スギ	0.14	35	2010	搬出間伐
	103	48	3	中土佐町大野見萩中寺元 1058	ヒノキ	4.32	46	2010	搬出間伐
	104	48	3	中土佐町大野見萩中寺元 1058	ヒノキ	2.73	46	2010	搬出間伐
	105	48	3	中土佐町大野見萩中寺元 1058	スギ	0.02	46	2010	搬出間伐
	106	48	3	中土佐町大野見萩中寺元 1058	スギ	0.09	46	2010	搬出間伐
	107	48	3	中土佐町大野見萩中寺元 1058	スギ	0.03	46	2010	搬出間伐
面積合計						100.59ha			

2. 町有林柿の又・西川団地

森林施業 計画に おける 施業地 NO	林班名		森林所在地	樹種	林齢	面積	間伐施業の計画	
	林班	林小班					時期	内容
2	54	2	中土佐町大野見下ル川425	ヒノキ	41	6.99	2010	搬出間伐
面積合計						6.99ha		

3. 町有林東平山団地

森林施業 計画に おける 施業地 NO.	林班名		森林所在地	樹種	林齢	面積	間伐施業の計画	
	林班	林小班					時期	内容
4	80	1	中土佐町久礼8111	ヒノキ	39	7.00	2010	切捨間伐
11	80	1	中土佐町久礼8111	ヒノキ	39	5.60	2010	切捨間伐
13	80	1	中土佐町久礼8111	ヒノキ	41	5.50	2007	搬出間伐
19	60	3	中土佐町久礼7450	ヒノキ	30	5.00	2010	搬出間伐
20	60	3	中土佐町久礼7450	ヒノキ	32	3.10	2010	搬出間伐
21	60	3	中土佐町久礼7450	ヒノキ	38	4.00	2010	搬出間伐
24	60	3	中土佐町久礼7450	ヒノキ	34	4.80	2010	搬出間伐
面積合計						35.00ha		

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

ヒノキ、スギの人工林について、おおむね30%以上の定性間伐を、10年間隔で実施します。また、間伐材の搬出に必要な路網の整備をすすめます。作業道開設に当たっては、できるだけ等高線に沿った勾配とし、適切な管理を行います。このことで、健全な森を育成し、CO2の吸収量を確保します。

併せて、林業従事者の安全性を確保するため、必要な資格の取得はもとより、定期的な労働安全講習を実施します。

当プロジェクトの対象森林においては持続的で適正な森林の管理を維持するため、プロジェクト期間終了後10年間の平成35年3月31日まで森林施業計画を更新していく予定です。

B.2 採用技術	プロジェクトで使用する設備・機器等 【間伐面積測定】 デジタルレーザーコンパス Trupulse360B レーザーテクノロジー社製（アメリカ） 平成21年度導入 GPS Pathfinder Pro XT Trimble 社製（アメリカ） 平成21年度導入 【樹高測定】 デジタルレーザーコンパス Trupulse360B レーザーテクノロジー社製（アメリカ） 平成21年度導入	
B.3 プロジェクト 実施場所	実施事業所名	1. 萩中森の工場団地 2. 町有林柿の又・東川団地 3. 町有林東平山団地

		1. 萩中森の工場団地
住所		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改597番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改598番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改599番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改600番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改601番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改838番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中新改841番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元844番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元846番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元968番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元970番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1049番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1051番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1058番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1323番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1372番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1379番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1380番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1382番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1383番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1384番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1385番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1386番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1387番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1388番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1389番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1391番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1392番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中寺元1393番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1524番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1778番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1779番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1781番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1786番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1789番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1791番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1792番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1804番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1805番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1807番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1808番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1878番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷1924番地
		高知県高岡郡中土佐町大野見萩中押谷2335番地

		2. 町有林柿の又・西川団地 高知県高岡郡中土佐町大野見下ル川425番地 3. 町有林東平山団地 高知県高岡郡中土佐町久礼7450番地 高知県高岡郡中土佐町久礼8111番地
概要		中土佐町は、高知県の中西部に位置し、四万十川流域の大野見地域と、土佐湾に面し黒潮の影響を受け温暖な気候の中土佐地域があります。  高知県中土佐町 萩中森の工場団地及び町有林柿の又・西川団地は四万十川上流部大野見地域に位置しています。町有林東平山団地は土佐湾に面する中土佐地域に位置しています。  ○ 萩中森の工場団地施業計画 ○ 町有林柿の又・西川団地施業計画 ○ 町有林東平山団地施業計画

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間		2007年4月1日～2013年3月31日(6年0ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※1		2008年4月1日～2013年3月31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	計 t-CO ₂	116	231	874	874	874	2,969
B.7 モニタリング報告の頻度		年1回を予定					
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	☒ 受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	高知県造林事業費補助金					
	補助金額 (申請額含む)	27,157,694円					
	補助対象年月日	2007年4月1日～2010年3月31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	補助金交付決定通知書					
B.9 他制度への申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	☒ 有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)	高知県協働の森 CO ₂ 吸収認証制度					

備考	プロジェクト遂行に影響を及ぼすリスクとして豪雨、台風等に伴う風倒、土砂崩れ、ナラタケ病、ニホンキバチ、ニホンジカなどによる病虫害害、人為的、自然発生的山林火災が考えられます。このことから、間伐実施後2年間森林国営保険に加入することで、自然災害においては森林国営保険による填補、若しくは自力の植栽を実施することで、災害に対するリスクから備えることとしています。 ダブルカウントを回避するための方法 萩中森の工場団地の一部は、高知県の環境先進企業との協働の森事業における協定森林であり2008年度に間伐を実施した森林について、2008年度及び2009年度分の高知県吸収証書が1回発行されています。このことから、2008年度に間伐を実施した森林のクレジット化は、2010年度以降の吸収量とします。また、2010年分以降は高知県吸収証書を発行しないことにより、ダブルカウントを回避します。 町有林東平山団地の一部は、高知県の環境先進企業との協働の森事業における協定森林であり2008年度及び2009年度分の高知県吸収証書が発行されています。このことから、協定森林を対象森林から除外することにより、ダブルカウントを回避します。 想定吸収量には高知県の環境先進企業との協働の森づくり事業による2008年度及び2009年分の高知県の吸収証書を含みません。
----	---

※1: クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。

※2: 想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。

※3: J-VER 制度や海外の VER 制度、都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>
	条 件	説 明 ※1
	C.1.2 条件1	当プロジェクト実施地はすべて森林施業計画の認定を受けていることから森林法第5条に定める森林であります。
	C.1.3 条件2	当該森林は、全て森林施業計画森林ですが、プロジェクト事業者以外の森林所有者を含む森林施業計画であるため、森林施業計画単位での申請はできません。 なお、プロジェクト参加者が所有、または管理する土地以外の箇所も含め、クレジット発行対象期間内に当該森林の転用、主伐は計画されていません。また、プロジェクト参加者が所有する森林以外の箇所については、森林所有者と須崎地区森林組合との間で結ばれた契約書によって、永続性が担保されています。 さらに、当該プロジェクトは、2007年4月1日以降の森林施業計画に基づき施業（間伐）が計画されています。
	C.1.4 条件3	別添森林施業計画書（写）に添付されている森林施業計画認定書のとおり中土佐町から認定を受けています。また、クレジット期間終了後10年間においても、適切に施業計画を更新していきます。 1. 萩中森の工場団地 認定番号 19-8 平成20年 2月 1日から平成25年1月31日 変 1-21 平成21年12月 1日から平成25年1月31日 変 2-22 平成22年 5月 25日から平成25年1月31日 2. 町有林柿の又・西川団地 認定番号 21-3 平成21年12月1日から平成26年11月30日 3. 町有林東平山団地 認定番号 20-8 平成21年 3月 2日から平成26年3月1日 変 1-21 平成21年12月1日から平成26年3月1日 なお、萩中森の工場団地の一部及び町有林東平山団地の一部は高知県環境先進企業との協働の森づくり事業における協定森林です。
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>
	方法論名称	JRAM001 森林経営活動によるCO2吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明) <table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>☐ 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☐ 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☒ 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注) 全て準拠する場合は、説明は不要。			準拠の説明	説明	☐ 全く準拠しない		☐ 一部準拠しない		☒ 全て準拠する										
	準拠の説明	説明																			
☐ 全く準拠しない																					
☐ 一部準拠しない																					
☒ 全て準拠する																					
C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合) <table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリングパラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td>☐ 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☒ 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td>☐ 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☒ 公表資料、学術論文等</td> <td>「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」として公表されています。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td>☐ システム収穫表 (LYGS 等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☒ 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>高知県民有林収穫表を使用しました。</td> </tr> </tbody> </table> 注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。			モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	☐ 森林 GIS		☒ 実測		拡大係数	☐ 実測		☒ 公表資料、学術論文等	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」として公表されています。	収穫予想表	☐ システム収穫表 (LYGS 等)		☒ 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	高知県民有林収穫表を使用しました。
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																			
活動量	☐ 森林 GIS																				
	☒ 実測																				
拡大係数	☐ 実測																				
	☒ 公表資料、学術論文等	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF 活動の補足情報に関する報告書」として公表されています。																			
収穫予想表	☐ システム収穫表 (LYGS 等)																				
	☒ 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	高知県民有林収穫表を使用しました。																			

C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオの特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)	
		森林を適切な状態に保つために必要な間伐が2007年度以降に実施されていない状態。	
		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
		データの信頼性・入手可能性	説明
☐ 低い			
☒ 低くない			
(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)			
施業計画通りに実施しない可能性	説明		
☐ 可能性がある			
☒ 可能性がない			
(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)			
転用の可能性	説明		
☐ 可能性がある			
☒ 可能性がない			

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定	(温室効果ガス排出源・吸収源)	
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。	
	リーケージの種類	説明
	☐ 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	
	☐ 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	
	(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)	
	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明
	☐ 使用	
	☒ 使用しない	

C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用) <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="552 327 810 421">不確かなデータの使用</th><th data-bbox="810 327 1426 421">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="552 421 810 517">☐使用する</td><td data-bbox="810 421 1426 517">(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td></tr> <tr> <td data-bbox="552 517 810 573">☒使用しない</td><td data-bbox="810 517 1426 573"></td></tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使用	説明	☐ 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	☒ 使用しない	
不確かなデータの使用	説明							
☐ 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
☒ 使用しない								
C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する) <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="552 712 874 860">モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</th><th data-bbox="874 712 1426 860">説明</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="552 860 874 909">☐存在する</td><td data-bbox="874 860 1426 909"></td></tr> <tr> <td data-bbox="552 909 874 965">☒存在しない</td><td data-bbox="874 909 1426 965"></td></tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	☐ 存在する		☒ 存在しない		
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
☐ 存在する								
☒ 存在しない								
C.6 備考		(モニタリングプロットの設定方法に関する記述) 1. モニタリングポイント No.1 から No.4.の設定について モニタリングポイント No.1 から No.4 を設定する森林は、四万十川の支流萩中川の流域にあり、同河川の東西にヒノキ 78.72ha スギ 21.87ha があります。このことから、ヒノキについては、西側 2 箇所、東側 1 箇所、スギ林については 1 箇所設定することとしました。 西側に設定する 2 箇所については、概ね東側に向かって開けた森林であり、朝日を受けやすいという共通した条件を有しています。これら森林を南北で近接するものをグループ化し、モニタリングポイント No.1、No.2 としました。 東側に設定する 1 箇所については、概ね北側に向かって開けた森林であるという共通した地形条件を有しています。これら森林を近接するものでグループ化し、モニタリングポイント No.3 としました。 スギ林については、生育に適している谷に沿って植林されており、成長がとても良いという共通した特徴を持っています。一方で谷に沿って細長く小面積に植栽されていることから、モニタリングプロット設定に適した広さを有する森林が少ないといった特徴があります。このことから、萩中川流域の森林をグループ化し、モニタリングポイント No.4 としました。 2. モニタリングポイント No.5 から No.7 の設定について モニタリングポイント No.5 から No.7 については、同一小班内で近接する森林をそれぞれグループ化しました。						

		3. モニタリングプロットの設定について 土地の肥沃な谷沿いは、樹木の生長がよく、尾根沿いでは成長が劣るという特徴があります。このことから、モニタリングプロットは谷や尾根付近を避け、斜面の中腹に設定できる場所を選択しました。 (モニタリングプロットに対応した資料の準備)
--	--	--

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他			
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)		
	1	森林・林業基本法	該当しない
	2	森林法	土砂の流出の防備保安林
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法	補助金の申請
	4	種の保存法	該当しない
	5	鳥獣保護法	該当しない
	6	騒音規制法	該当しない
	7	景観法	該当しない
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない
	9	環境影響評価法	該当しない
10	四万十川条例	該当しない	

D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	須崎地区森林組合は、プロジェクト対象森林の森林所有者のうち中土佐町を除いた森林所有者から、本プロジェクトの実施について委託されています。 森林施業計画参加者のうちプロジェクト対象森林とならない森林所有者については、須崎地区森林組合と森林所有者の間に締結されている森林施業長期委託及び確認書によって、永続性が担保されています。
D.3 その他特記事項	該当無し